

答申 (案) たたき台 (要約版)

《はじめに》

1. 答申の基本的な考え方

2. 公共図書館の歴史、存在価値、役割など

(1) 公共図書館とは

(2) 歴史にみる図書館の使命の変遷

(3) 文化的側面からみた公共図書館の役割

(4) 吹田市立図書館の存在価値

(5) いわゆる「公共図書館は無料貸本屋」との見方について

3. 吹田市立中央図書館の現状

(1) 立地環境

(2) 施設の現状と課題

- ① 建物の老朽化
- ② 施設の課題 (バリアフリー状況)
- ③ 施設の課題 (資料の保存、開架室の狭隘)
- ④ 自動車文庫と学校連携
- ⑤ 自習室
- ⑥ 食堂

(3) 利用状況と今後の目標

- ① 登録率
- ② 利用者数
- ③ 貸出点数

(4) サービスの現状と課題及び、求められる機能について

- ・ 開館日数及び開館時間

- ・職員体制
- ・一般サービス、レファレンス（相談業務）
- ・資料提供サービス
- ・児童サービス
- ・YA（ヤングアダルト）サービス
- ・障がい者サービス
- ・郷土行政資料サービス
- ・学校支援
- ・情報通信技術（Information and Communication Technology：以下「ICT」）
- ・Audio Visual 資料（視聴覚資料）
- ・公民館、博物館その他図書施設との連携（市役所出前講座、生涯学習人材バンク）

4. 私たちが求める中央図書館のすがた

(1)各種計画における図書館

(2) 新しい図書館をイメージする

- ① 資料・情報の提供による生涯学習支援とリタイア後の市民デビューを支援
- ② 癒しと潤いの空間を提供
- ③ 住んでみたくなる魅力ある都市の創造と図書館整備
- ④ まち創りのための「ラーニング・コモンズ」機能
- ⑤ 市民活動のための「コワーキングスペース」の提供
- ⑥ 吹田市子ども読書活動支援センター機能

5. 市民意識調査にみる利用者像から浮かぶ図書館の役割